



(別紙)

「伊丹市文化振興ビジョン(案)」に対するご意見及びご意見に対する考え方について

・全体

	分類	ご意見の概要	市の考え方
1	—	本市中心市街地では新しいマンションが林立し、今後、これらの住民の高齢化によるまちの衰退が心配される。本市もこれから縮小社会に向かう中で、中心市街地に限らず、各地域の活性化が課題となる。これには文化芸術のもつ価値に着目し、良質な文化芸術を起因とした経済活動、活性化策が有効であると思う。つまり、文化芸術を経済活動・循環の基軸にして文化芸術資本を充実させ、各地域に関係人口の増大を目指す政策が有効かと思う。これは文化庁の創造都市政策にも通じるものである。戦略的文化政策の基本にするべきだと思うが、このビジョンにはこうした創造都市・文化芸術活動から派生する経済活動の記述が薄い。	【ビジョン案に盛り込み済み】 いわゆる「創造都市」や「文化芸術活動から派生する経済活動」については、本市が振興する文化芸術の方向性の1つとして本ビジョンが掲げる「地域に連携と循環を促す文化芸術」として取り組むものであり、基本方針の2で定める「文化芸術を通じた行政分野の横断的なつながりを推進するとともに、新たな結びつきの創出を目指します」や、3の「小さな取組が相互に影響し合い、連携と循環が生まれる環境や仕組みの整備」、5の「対話や協働の創出を目指して、市民がチャレンジしやすい環境や仕組みの整備」がこれにつながるものと考えております。 創造都市政策の先にあるであろう「創造社会」における文化政策の要点の1つとして「多様な主体との対話による文化創造」が挙げられていることにも鑑み、本市においては、文化芸術の意義や価値に向き合い、市民の皆様の“小さな取組”や“小さなチャレンジ”を後押しすることでまちの活性化を目指してまいります。
2	—	過去の伝統や培ってきたものを活かすような考えがないと思う。また文化施設の過去の振り返りや総括、数字などで考察すればどうか。	【ビジョン案に盛り込み済み】 本ビジョンの推進にあたっては、これまで本市で展開されてきた文化芸術の事業や活動を大切にしながら、それらをより発展させていくために、他者との“出会い”や“対話”を促す仕掛けを付加していくことが重要となります。そのような考えのもと、基本方針の1において「鑑賞型や体験型の文化芸術を提供するとともに、他者とのゆるやかな関係性や対話を創出する文化芸術を推進します」と定めております。 また、文化施設が本市の文化振興施策の推進において大きな役割を担っていることは間違いありませんが、本ビジョンは文化芸術の意義や価値に向き合い、本市の文化芸術の振興に関する基本的な方向性を定めようとするものであることから、文化施設の総括等を詳細に記載することはしていません。なお、文化施設に対する評価については、毎年度実施する行政評価や指定管理施設管理運営状況報告といった手続の中で行うこととしております。
3	—	新しいことをしたい気持ちは伝わるが、これまでの良かったことも残すことは考えていないのか。	【ビジョン案に盛り込み済み】 No.2の回答と同様ですが、本ビジョンの推進にあたっては、これまで本市で展開されてきた文化芸術の事業や活

			<p>動を大切にしながら、それらをより発展させていくために、他者との“出会い”や“対話”を促す仕掛けを付加していくことが重要と考えております。</p>
4	—	<p>ビジョン推進のための事業に関わる人はこれまで同様ボランティアで埋めるのか。また協力的な方々で結果を出して定量化するのか。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】</p> <p>令和 5 年度に実施した市民意識調査等においては、「文化芸術活動を行う機会」の充実の必要性が明らかになりました。そこで、本ビジョンでは、市民の皆様の“小さな取組”や“小さなチャレンジ”を支援することで、一人でも多くの市民が文化芸術活動を行い、文化芸術に触れる機会を創出することを目指しております。</p> <p>本ビジョンの推進にあたっては、ボランティアや協力的な方々だけではなく、市民、文化芸術団体、いたみ文化・スポーツ財団、関係機関、伊丹市が連携し、一体となって取り組むことが重要であると考えております。</p>
5	—	<p>文化芸術の質を上げる取組や、今の施設を改善しうまく有効活用することなどは考えているか。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】</p> <p>上質な文化芸術に触れる機会は、創造力や感性を育み、豊かな人間性の涵養につながるものと考えております。本市の文化施設は、これまでも市民が親しみやすく“入口”となる文化芸術の鑑賞機会を提供したり、活動の拠点となったりするなど、文化振興施策の推進において大きな役割を担ってきました。そのような中、文化会館、演劇ホール、音楽ホールについては、いずれも開館から 25 年以上が経過し、建物や設備の老朽化が進んでいることから、適切な維持保全の措置を行いつつ、本ビジョン推進にあたり求められる機能について引き続き検討を進めてまいります。</p>
6	—	<p>これまでに反省点はあるか。また反省を活かし工夫した考えはあるか。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】</p> <p>令和 5 年度に実施した市民意識調査等によれば、文化芸術を鑑賞している市民の割合は前回調査から増加しましたが、活動を行っている市民の割合は減少しました。これは、活動に必要な機会、サポート等の提供が不十分であったためと考えられます。</p> <p>そこで、本ビジョンでは、市民の皆様の“小さな取組”や“小さなチャレンジ”を支援することで、一人でも多くの市民が文化芸術活動を行い、文化芸術に触れる機会の創出に努めてまいります。</p>
7	—	<p>関西、阪神広域、伊丹・川西・宝塚で協力する、というような視点はありますか。</p>	<p>【ビジョン案のとおり】</p> <p>本ビジョンに沿った事業を企画立案し、実施していく中で、近隣他市や広域的な連携を行うことは想定されません。</p>
8	—	<p>このビジョンを考えた行政の方々は、伊丹の文化芸術をワクワク、どきどきしながら、「なにかが起ころ」「伊丹の未来がどん</p>	<p>【ビジョン案のとおり】</p> <p>本ビジョンの案は、伊丹市文化振興ビジョン策定懇話会における熱心な議論を経て作成したものです。その過程</p>

		<p>どん良くなる」と思い描いてつくったか。</p>	<p>は非常に示唆に富むもので、基本理念である「出会いと対話と文化芸術と。なにかが起こる、わたしのまち」も、そのような中で出てきた言葉です。</p> <p>文化芸術を通して他者とのゆるやかなつながりを育み、豊かな対話を生むことを企図し、その先には、人生に彩りと潤いを与えてくれたり、生きる力を与えてくれたりする“なにか”がある。そのように考えて定めたものであり、この基本理念を実現するための各種の取組が、心豊かな市民生活の実現と、市民が誇りと愛着を持てるまちづくりにつながるものと考えております。</p>
9	—	<p>文化芸術が身近なものとして生活に根付くことを目指すなら、地域の「共同利用センター」は、集う場として大きな役割を果たしています(ダンス・カラオケ・体操 etc.)。今、伊丹市としてはこの施設を縮小してきていますが、この方向は、地域コミュニティづくりに対して様々な面から大きくマイナスになると思います。</p> <p>地域で文化芸術にふれるための大切な場となっていると思いますが、どうお考えでしょうか。センターを今後も活用できるように考えることはできないのでしょうか。</p> <p>また、各文化施設の整備に関しても、充分役割を担うことができるよう力を入れていただきたいと思います。</p>	<p>【ビジョン案のとおり】</p> <p>共同利用施設等は、地域自治組織や自治会等の活動をはじめとする地域コミュニティ活動等の推進や住民間の交流等を目的として活用いただいておりますが、建物の老朽化が進んでいることから、将来に渡ってその目的のために活用いただく施設を維持していくために、住民の方々の合意のもと、複数の施設を集約して、新たな施設を設置する取組を進めております。今後も引き続き、住民の方々と協議しながら、取り組んでまいります。</p> <p>また、文化施設の整備につきましては、それぞれの施設が果たしている役割を踏まえながら、本ビジョンに沿った取組を実現するための場として求められる機能の検討を進め、建物や設備の老朽化に対して適切なタイミングで大規模改修を実施してまいります。</p>
10	—	<p>情報収集の仕方や発信が、伊丹市の HP からしかないのであれば、市の HP などにも民間団体の情報などを載せていただきたいです。</p> <p>豊中市などで、地域の居場所運営などにも予算を組んで運営補助金などが出たり行政の方と地域の活動団体との懇親会などが盛んに行われています。そうすることにより、より細やかな対応、対策が見えてくるのではないかと思います。</p> <p>現在、市の HP にも不登校支援先として載っているのは「学習」できる子どもへの場所のみで、保護者に対する対応先としての情報がありません。</p> <p>市内にはいくつかの保護者向けに『話せる場所』を運営している任意団体があります。</p> <p>「こども食堂」が市の HP で検索できるよ</p>	<p>【その他】</p> <p>本ビジョンの推進にあたっては、関係機関との横断的連携のもとで文化芸術を活かしたまちづくりに取り組むことが重要と考えております。文化芸術における「社会包摂」や「新しい広場」を実現する際には、既存の文化芸術の分野にとらわれず、未分化なものも広義の文化芸術となり得る可能性があります。そのことを踏まえ、本ビジョンが掲げる基本理念の実現に向けて、各種団体との対話や、SNS の効果的な活用といった情報発信の手法についても検討してまいります。</p>

	<p>うに、このような団体も市の HP などからも検索できるようになれば、市民の方にももっと声が届き、聴く事ができるのではないかと思います。</p> <p>また、発信の仕方にも工夫が必要であるのかとも思います。(SNSなどの活用のしかたなど)</p> <p>是非一度、このような活動団体とのセッションを設けていただきたいです。</p>	
--	---	--

・第1章 策定にあたって

	分類	ご意見の概要	市の考え方
11	策定の趣旨及び背景	<p>1頁で、コロナ禍で「文化芸術も不要不急のものとして扱われ、」としているが、令和3年5月の文化庁長官メッセージでは「文化芸術活動は、断じて不要でもなければ不急でもありません。このような状況であるからこそ、社会全体の健康や幸福を維持し、私たちが生きていく上で、必要不可欠なものである」としている。これと不整合になっている。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】</p> <p>1頁の当該記載は、コロナ禍において文化芸術が置かれた状況を記したもので、本市が文化芸術を「不要不急のもの」と認識しているものではありません。</p>
12	文化芸術の範囲	<p>3頁の一覧表には俳句、工芸が入っていない。ワークショップで「市民俳号」の意見はあったものの(p.34)、委員間では市民の投句の取組みにも触れていない(p.11-12)。</p>	<p>【ビジョン案のとおり】</p> <p>文化芸術の範囲として3頁に掲載している一覧表は、文化芸術基本法第8条から第14条までの規定に沿って作成したものです。俳句は「文学」に、工芸は「美術」に含まれるものと認識しております。また、11頁・12頁に掲載している事業は、これまで本市で展開されてきた多種多様な取組の一例を示したものです。</p> <p>俳諧・俳句は日本が世界に誇る文化芸術であり、市立伊丹ミュージアムでは、俳諧・俳句文化の貴重な資料からなる柿衛文庫コレクションも活用しながら、歴史・芸術・文化の総合的な発信拠点として多彩な事業を展開しています。ご意見にあります「市民の投句の取組み」は、令和元年から始まった「伊丹一句の日」のほか、どなたでも応募可能で平成3年から続く「鬼貫顕彰俳句」も該当するように思われます。このように市民が広く参加できることは、本市の文化芸術の振興を図るうえで重要と考えております。</p>

	分類	ご意見の概要	市の考え方
13	これまでの取組	<p>10 頁で、「これまで演劇ホールで蓄積してきたノウハウと専門性を発展させ、場所にとらわれることなく、より柔軟に、より市民の中に沁みていくような取組が求められています。」とあるが、「場所にとらわれることなく」と「取り組みが求められている」との間には論理の飛躍がある。「ノウハウと専門性を発展させ」て演劇ホールの設備を充実することも考えられるが、なぜ「場所にとらわれることなく」より市民の中に沁みていくような取り組みが求められているのか。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】</p> <p>演劇ホールは、専門的かつ個性的な事業を展開し、平成16年にJAFRA アワード総務大臣賞を受賞するなど、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに大いに貢献してきました。その一方で、少子高齢化・人口減少時代における持続可能なまちづくりを進めるにあたっては、文化会館及び音楽ホールとともに、施設の老朽化問題に対応し、魅力ある公共施設を次世代に引き継いでいくため、将来を見据えて市民ニーズに応じた事業展開を図っていくことが求められています。</p> <p>そのような中、3 館については、平成28年2月策定の伊丹市公共施設再配置基本計画に基づき、平成30年度より、いずれも中心市街地という良好な立地条件を有していることから個々の施設単位ではなくエリアとして捉え、事業の効果、施設の有効活用、財政負担の観点で、そのあり方の検討を進めております。</p> <p>演劇ホールにつきましては、その利用実績やサービスコスト等を総合的に考慮すると、他の2館と比較して市民への浸透が十分とはいえない状況でした。このような状況を踏まえ、場所や形態の自由度が高いという演劇の特性をより活かし、場所にとらわれることなく柔軟な事業展開を図ることによって、多くの市民に演劇という文化芸術に触れる機会が広がり、“共感”や“対話”の創出といった演劇が持つ社会的価値の普及につながるものと考えております。</p>
14	これまでの取組	<p>演劇ホールの設備、装置仕様についてはこれまで演劇人から高評価を得てきた。また、その上演は文化庁からも評価されてきた。このビジョンにはそうした記述が脱落している。演劇ホールがこれまで獲得してきた価値と今後の継続発展を明記するべきではないか。それは平成24年6月27日 文部科学副大臣発出の劇場法施行通知で示された、国・自治体の劇場施策には「短期的な経済効率性を一律に求めるのではなく、長期的かつ継続的に行うよう配慮する必要がある」とする趣旨にも合致するものである。</p>	<p>【ビジョン案のとおり】</p> <p>文化会館、演劇ホール、音楽ホールは、これまで長年に渡って本市の文化芸術の振興に大きく寄与してきました。その取組が評価され、一般財団法人地域創造が主催する、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰する事業において、演劇ホールは平成16年度 JAFRA アワード総務大臣賞を、音楽ホールは平成29年度地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞しております。さらに、演劇ホールが劇団と共同制作し上演した作品が、平成26年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞しております。</p> <p>また、劇場法は、その前文において、「これまで主に、施設の整備が先行して進められてきたが、今後は、そこにおいて行われる実演芸術に関する活動や、劇場、音楽堂等の事業を行うために必要な人材の養成等を強化していく必要がある」と述べ、劇場等を取り巻く課題を提示していま</p>

			<p>す。同法施行通知が「長期的かつ継続的」な施策を求める趣旨は、文化芸術が古今東西の様々な人々の営為の上に生まれ、その継承と変化の中で新たな価値が見出されていくものであるという特質を踏まえ、劇場等を巡る諸課題の克服に向けた留意事項として示されたものと理解しております。</p> <p>本市における演劇事業については、高い評価を得た演劇ホールの実績に基づくノウハウと経験を活かし、本ビジョンに沿って、今後も取り組んでまいります。</p>
15	市民の意識 ～“鑑賞”から “鑑賞と活動” へ～	市民意識調査のアンケート内容の記載がないので何が聞きたかったのか、目的はなにがわからない。	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】</p> <p>令和 5 年度に実施した市民意識調査は、今後の文化振興の方向性を定めるにあたり、市民の皆様の文化に関する意識を基礎資料として活用することを目的として実施したものです。その内容は市ホームページにて公表している報告書のとおりであり、その概要を 13 頁～16 頁に記載しております。</p>
16	市民の意識 ～“鑑賞”から “鑑賞と活動” へ～	子どもの意見の結果だから仕方がない、という説明でいいのか。	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】</p> <p>「こども世代に対する文化に関するアンケート調査」は、こども基本法第 11 条の趣旨に鑑み、本ビジョンの策定にあたって、こどもの文化への関わりの状況を参考にすることを目的として実施したものです。その結果、文化芸術の「活動」に関して改善が必要であることが判明しました。本ビジョンでは、市民の皆様の活動や取組の支援を大切にするとともに、こどもが文化芸術に触れる機会の確保に努めてまいります。</p>
17	市民の意識 ～“鑑賞”から “鑑賞と活動” へ～	<p>アンケート結果をどう分析しているのか。ほとんどの人が直接芸術鑑賞をしていない様子と見られます。その理由として一番多いのが、時間がない(37.1%)、関心がない(24.4%)となっています。活動を行わなかった理由としても同じような結果となっています。</p> <p>それに対しては、どう対応していけばいいのでしょうか。</p>	<p>【ビジョン案に盛り込み済み】</p> <p>令和 5 年度に実施した「文化に関する市民意識調査」(18 歳以上)及び「こども世代に対する文化に関するアンケート調査」における分析結果は市ホームページにて公表している報告書のとおりであり、その概要を 13 頁～16 頁に記載しております。</p> <p>同調査によれば、「この 1 年間に劇場やホールなどに行って実物を直接鑑賞したことのある文化芸術の分野」に関する設問において「どれもなし」と「無回答」を除いた割合、すなわち直接鑑賞した割合は、18 歳以上の市民で 65.5%、こども世代で 75.8%であり、文化芸術の直接鑑賞につきましては高い水準にあります。その一方で、「この 1 年間に行った文化芸術の活動」に関する設問において「どれもなし」と「無回答」を除いた割合、すなわち活動した割合は、18 歳以上の市民で 19.3%、こども世代で 38.0%であり、いずれも低い水準となっております。</p> <p>その理由のうち「時間がなかなかとれない」ことに対しては、例えば短時間のワークショップや講座など参加しやす</p>

			い取組を行ったり、「関心がない」ことに対しては、例えばアウトリーチのリーチ先を多方面に展開したり社会包摂を基軸とした取組を行ったりすることが考えられます。市民がより気軽に文化芸術活動に参加することができる機会の充実に努めてまいります。
18	市民の意識 ～“鑑賞”から “鑑賞と活動” へ～	14 頁の時間がないから鑑賞等できない層に対してどのように働きかけるのかが説明が欲しいです。 部活動の地域移行に関しても具体的に説明が欲しく、慎重に進めてほしい案件であります。	【ビジョン案のとおり】 「時間がなかなかとれない」ことに対しては、例えば公演時間をニーズに合わせた時間帯で設定したり、短時間のワークショップや講座など参加しやすい取組を行ったりすることが考えられます。市民がより気軽に文化芸術の鑑賞や活動に参加することができる機会の充実に努めてまいります。 また、部活動の地域移行につきましては、現在、教育委員会、学校、関係団体等において検討が進められております。こども世代の文化芸術体験を確保し、より充実していくため、いただいたご意見を関係部署に共有するとともに、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。

・第3章 ビジョンの理念と取組の方向性

	分類	ご意見の概要	市の考え方
19	基本理念	伊丹の文化芸術の方向性は、古き良きものを壊して新しいことを始める、という理解で良いか。	【ビジョン案に盛り込み済み】 No.2 の回答と同様ですが、本ビジョンの推進にあたっては、これまで本市で展開されてきた文化芸術の事業や活動を大切にしながら、それらをより発展させていくために、他者との“出会い”や“対話”を促す仕掛けを付加していくことが重要となります。そのような考えのもと、基本方針の1において「鑑賞型や体験型の文化芸術を提供するとともに、他者とのゆるやかな関係性や対話を創出する文化芸術を推進します」と定めております。
20	伊丹市が振興する文化芸術の方向性	市民が楽しむ芸術、地域と連携の芸術、未分化の芸術に、伊丹市や行政はどう関わるのか。これまでどおり、地域や市民にいたみ文化スポーツ財団におまかせか。	【ビジョン案に盛り込み済み】 30 頁で本ビジョンの推進のために「期待される役割」を示しているとおり、文化芸術の主役は市民です。伊丹市は、心豊かな市民生活の実現を目指し、市民の皆様が継続的に文化芸術に関わり、安心して活動できるための環境づくりに努めてまいります。そのような考えのもと、基本方針の10において「市民のチャレンジに対して伴走支援を行い、時にはともに実行します」と定めております。 本ビジョンの推進にあたっては、市民、文化芸術団体、いたみ文化・スポーツ財団、関係機関、伊丹市が連携し、一体となって取り組むことが重要であると考えております。
21	伊丹市が振興する文化芸術の方向性	伊丹市以外の方が文化振興に関わることは考えているか。	【ビジョン案に盛り込み済み】 18 頁で示している「伊丹市が振興する文化芸術の方向性」のうち「地域に連携と循環を促す文化芸術」では、立

			場を超えた関わり合いを促し、出会いと対話と文化芸術の好循環を生み、まちが活性化することを目指しております。このような取組には、市民や市内の事業者だけでなく、市外の方が関わることも想定しております。また、本市の文化芸術団体には市外の方も加入しております。心豊かな市民生活の実現と、市民が誇りと愛着を持てるまちづくりを目指して策定する本ビジョンの推進には、市外の方の関わりも必要と考えております。
22	具体化に向けて ～19の動詞～	19の動詞に伊丹市や行政はどう関わるのか。	【ビジョン案に盛り込み済み】 19の動詞は、基本理念の実現に向けて効果的に事業を推進するため、事業を実施する際に意識すべきことを端的に表現したものです。伊丹市が実施する事業だけでなく、市民の皆様が取り組む際に参考としていただくことで、事業効果の向上に寄与するものと考えております。No.20の回答と同様ですが、文化芸術の主役は市民であり、伊丹市は、心豊かな市民生活の実現を目指し、市民の皆様が継続的に文化芸術に関わり、安心して活動できるための環境づくりに努めてまいります。そのような考えのもと、基本方針の10において「市民のチャレンジに対して伴走支援を行い、時にはともに実行します」と定めております。
23	具体化に向けて ～19の動詞～	25頁の「19の動詞」の中の「余白を作る」という動詞は、「決めすぎない」「用意しすぎない」と説明されるが、どの程度で「すぎない」ことになるのか曖昧で、客観的に判断できない。基本方針を具体化する際の「動詞」としては不適當であり、「19の動詞」から削除すべきだと考える。	【ビジョン案のとおり】 19の動詞は、基本理念の実現に向けて効果的に事業を推進するため、事業を実施する際に意識すべきことを端的に表現したものです。「余白を作る」という動詞については、「創意工夫できる余地を残しておくこと」を趣旨としております。 どの程度が“余地”となるかは、それぞれの事業や活動の性質等により個別に判断されるものであるため、画一的な判断基準を定めることは想定しておりません。また、この動詞は主体性を育むことを企図しており、基本方針を踏まえた取組の具体化に向け、効果的に事業を企画立案し、実施していくために重要であると考えております。

・第4章 ビジョンの推進のために

	分類	ご意見の概要	市の考え方
24	推進に向けた考え方 ～関係と過程の価値の定量化～	27頁～28頁の「関係と過程の定量化」について、芸術文化施策の個々の事業の評価のためとされている。項目例からみて、取組の「価値」を高めようとすると、できるだけ多くの人と、何回も、長時間にわたり対話して準備を重ね、注目を集めるようネットを活用し、多くの参加者を集め	【ビジョン案のとおり】 「関係と過程の価値の定量化」につきましては、本ビジョンの推進に向けて、これまでは既存の枠組みや数値による評価が困難であった事業に対して、その価値を付加し、“見える化”することを目指すものです。 27頁・28頁で掲げる項目例は、現時点で想定されるものを一部掲載したものです。実際にどのような項目を指

	<p>ることになる。伝統文化の中には、一子相伝で伝統を受け継ぎ、高度な技術を現代に伝えるものも多いが、こうした芸術文化はこの「項目例」によると低い評価となりかねない。「関係と過程の定量化」が、「評価」のための数値化であってはならないと思う。</p> <p>「過程の価値を測る指標」は、「令和 7 年度以降、検証を踏まえて設定」されるが、場合によっては伝統文化を衰えさせる可能性も否定できず、「設定」にあたっては市民に開かれた場で慎重に検討される必要がある。</p>	<p>標として設定するかにつきましては、いただいたご意見も参考に、例示している項目に限定せず、個別の事業の性質等も踏まえて、慎重に検討してまいります。</p>
--	--	---

・その他

	分類	ご意見の概要	市の考え方
25	-	<p>文化芸術の鑑賞や活動には費用がかかりすぎるといった意見もありますが、一般市民や学生が気軽に鑑賞し、参加するために、伊丹市として支援していただければ幸いです。</p> <p>各施設での習い事に関しても、もっと気軽に習える金額でないと受けることができないと思います。そうすると、市民の心豊かな生活は実現できないと思いますので、財政的支援を考えていただきたいと思います。</p>	<p>【ビジョン案のとおり】</p> <p>文化芸術の鑑賞及び活動につきましては、金銭的な負担を伴う場合があります。本市では、市民が気軽に参加できるよう無料または低廉な価格を設定している事業も多数実施されております。これらの事業について積極的な情報発信に努めるとともに、市民がより気軽に文化芸術の鑑賞や活動に参加することができる機会の充実に努めてまいります。</p>
26	-	<p>伊丹市の公館である「鴻臚館」は、近年、館の内外や庭園に破損箇所などが認められる。完成後 40 年を経過し、「日本建築の伝統技術を残そうと、市内の大工、左官、建具師ら現代の名工がつくり上げ」た(伊丹市ホームページより)にもかかわらず、保守管理が不十分と言わざるを得ない。阪神間でも有数の伝統建築であるだけに、十分な保守管理を求めたい。</p> <p>また、市公館という位置付けであるが、市民文化の高揚という側面からすると、公館として秘書課が管理することを見直し、市民が芸術文化活動により活用しやすいようなあり方に見直すべきではなかろうか。</p>	<p>【その他】</p> <p>鴻臚館は、これまでも市民団体や文化団体等が行う行事または文化事業等に使用いただいております。保守管理や施設のあり方につきましては、いただいたご意見を関係部署に共有するとともに、今後の取組にあたっての参考とさせていただきます。</p>

27	-	<p>基本理念に賛同します。</p> <p>「19 の動詞」がわかりやすく、イメージしやすい。</p> <p>私は伊丹市民ではありませんが、「伊丹オトラク」や「鳴く虫と郷町」をきっかけに市民やお店や公共施設の方々と繋がりができ、いっしょに活動できることが、人生の中で大きな財産だと感じていて、正に「関係の価値」「過程の価値」が重要と感じます。今後も長く関わっていきたいです。</p>	<p>【その他】</p> <p>活動に参画いただいている「伊丹オトラク」や「鳴く虫と郷町」は、市民と事業者が主体となり、地域に連携と循環を促す文化芸術として定着し、本市を代表するイベントとなっております。今後も、引き続き多くの方に参画いただけるよう本市の文化振興に取り組んでまいります。</p>
----	---	---	---